

## 〔 一般教養科 〕

### 〔 区 分 A 〕

#### 鹿毛 敏夫

##### 戦国大名の海洋活動と東南アジア交易

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

貿易陶磁研究 第32号（日本貿易陶磁研究会）、pp23-33、(2012.9)

15・16世紀の中世後期、日本人が操る木造帆船は、アジアのどの地域までを活動エリアとして交易していたのであろうか。日本の歴史において、守護大名や戦国大名が列島各地に割拠したこの時代、彼ら大名権力による領域活動は、陸上のみならず海域にもおよんでいたはずである。本稿第1章では、その海洋活動のエリアの実態を明らかにした。

やがて、16世紀末文禄の豊臣統一政権期から17世紀前半期になると、日本人の海洋活動は東南アジアの諸地域にまでおよび、豪商や近世大名による朱印船の派遣が全盛を迎え、日本から渡航した人々による日本町がアユタヤやホイアンなどに形成されるのは周知のことであるが、では、その前段階の戦国後期に、各地の戦国大名は東南アジアの国々とどのような関係を結んでいたのであろうか。また、その関係は、いわゆるキリスト教や鉄砲の「伝来」のような、交易相手の主体的活動がもたらした受動的関係であるのか、それとも、戦国大名が自らの船を能動的に派遣することで獲得した交易関係と言えるのであろうか。第2章では、朱印船交易時代に先立つ16世紀後期の戦国大名による東南アジア交易の実態を明らかにした。

#### 鹿毛 敏夫

##### 『抗倭図巻』『倭寇図巻』と大内義長・大友義鎮

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

東京大学史料編纂所研究紀要 第23号、pp296-307、(2013.3)

16世紀の倭寇の活動と、明軍によるその撃退を描いた倭寇図が日本と中国の双方に残存する。近年、これらの倭寇絵巻の分析が進み、その実態が明らかになりつつあるが、本稿では、こうした共同研究のさらなる深化をめざして、双方の絵巻を鎮圧された倭寇の側に視点をすえて分析した。

その結果、嘉靖大倭寇の日本側首謀者として胡宗憲や趙文華ら明側から取り締まりを受けた倭寇船団がどこから来たのか、そして特に『抗倭図巻』の中に描かれる明軍被虜の倭人はどのような立場の人物なのか等の問題について、2つの絵巻に描かれる倭寇船の「弘治」年旗との関わりのなかで解明することができた。

#### 木本 伸

##### ガンゼル『ウェイブ』試論—教室の日常に潜むファシズム—

木本伸\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

ドイツ文学論集, 第 45 号, 日本独文学会中国四国支部編, pp. 19-32, (2012. 10.)

本論はガンゼル監督作品『ウェイブ』の作品解釈である。

## 〔 区 分 B 〕

### 野口 裕子

#### 文学館めぐり

野口裕子

新居浜工業高等専門学校一般教養科

解釈(解釈学会編集)・第 58 巻第 9・10 号・42 頁 (2012. 10)

文学館めぐりとして、松山市にある伊丹十三記念館を紹介、解説したものである。当館は松山市の登録博物館の一つである。ここでは、館の概要、展示内容を紹介し、さらに館の印象も伝え、館の持つ意義についても言及している。伊丹十三はエッセイストとしても多くのものを残しており、その点からも文学館めぐりの一つとして掲載された。

### 鹿毛 敏夫

#### 月に名前を残した男—江戸の天文学者 麻田剛立—

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

角川学芸出版(角川ソフィア文庫)、(2012. 8)

迷信的な考え方の根強い江戸時代の日本に、観測と実験による実証を重視した天文科学者がいた。男は、生涯にわたって日食や月食を観測し、また犬などの解剖実験を行って、大宇宙(マクロ・コスモス)と小宇宙(ミクロ・コスモス)の謎を解明しようとした。角川学芸出版からの依頼を受け、日本の近代科学の先駆者とも言えるその男: 麻田剛立(1734~99年)の功績をたどりながら、江戸時代の天文科学の実態を学生向けにわかりやすく紹介し、角川ソフィア文庫の1冊として刊行した。

### 鹿毛 敏夫

#### 戦国大名と政略結婚

鹿毛敏夫\*1、久保田昌希\*2、黒田基樹\*3、坂田聡\*4、ほか 21 名

\*1 新居浜工業高等専門学校一般教養科、\*2 駒沢大学、\*3 駿河台大学、\*4 中央大学

新人物往来社(新人物文庫)、(2012. 10)

戦国大名と言え、軍勢を率い合戦を繰り返して領土を広げるイメージが先行するが、実は、周辺領主と婚姻関係を結ぶことで勢力を拡大するという政略結婚も各地で繰り返されていた。本書では、新人物往来社からの依頼を受け、全国各地の戦国大名家がどのような婚姻関係を駆使して勢力の伸張を図ったかについて、24 の大名家を具体的にあげて共同執筆し、新人物文庫の1冊として刊行した。

### 鹿毛 敏夫

#### 大航海時代のアジアと大友宗麟

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

海鳥社、(2013. 1)

ユーラシア大陸の東の端で南北弓なりに伸びる日本列島の中で、九州は朝鮮半島や中国、東南アジア諸国に最も近い場所に位置する。近代国家のような厳格な国境意識が芽生える以前の中世の九州に生きた人々にとって、アジアは身近な場所であり、そして自らの存在自体がアジアであった。本書では、日本国内のみならず、中国、韓国、ベトナム、タイ、カンボジア、インド、そしてポルトガルやドイツへと足を運んで関係史料を蒐集し、現代社会とは異なる、鎌倉時代の武将や戦国時代の大名が認識し自認していたアジアの姿を、百数十枚のカラー写真を添えて一般向けに分かりやすく解説した。

## 野田 善弘

吉田公平教授退休記念論集 哲学資源としての中国思想

野田善弘\*、ほか18名

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

研文出版 pp414-436 (2013. 3)

本書は、吉田公平先生の退休を記念して、その学恩を受けた内外の研究者が集まり、刊行した論文集である。本書はあわせて19編の研究論文から成るが、筆者は「柳詒徴と日本」と題し、民国時期東南大学を指導した歴史学者柳詒徴について、その思想形成過程を明治日本との関係を軸に検討した。

## [ 区 分 C ]

## 鹿毛 敏夫

書評 鈴木敦子著『戦国期の流通と地域社会』

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本歴史 第770号、pp120-122、(2012. 7)

中世後期の地域社会における流通構造の究明は、日本史研究における旧来からの極めて重要な研究課題である。本稿では、肥前方面の交通や物流、貨幣流通の実態を描き出した鈴木敦子氏の新刊著作を論評しながら、銀流通のみならず様々な経済的要素が入り乱れる中世後期社会において、そもそも何を指標として経済の発展を論ずべきなのか、古くからの流通史研究や近年めざましい進展をみせる貨幣史研究の成果も交えながら、総合的に議論する必要性を指摘した。

## [ 区 分 D ]

## 鹿毛 敏夫

戦国時代末期の日本と九州

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

長崎県世界遺産登録文化的景観保存調査報告書(長崎県世界遺産登録推進室)、pp49-59、(2013. 3)

16世紀後半の東アジアでは、明朝を宗主国とあおぐ勘合貿易に象徴される従来の国家間の合法的な通交に代わって、さまざまな国と立場の交易集団が錯綜的に交流するようになり、やがてそうした人々の活動が交易システムの主流の位置を占めるようになる。この東アジアにおける時代の大きなうねりのなかで、日本ではいわゆる戦国大名が国内のおよび対外的に活動し、また、南蛮交流を行う都市(港町)が繁栄し

た。本稿では、長崎にキリスト教文化が流入する下地としての16世紀の日本、特に九州地域の社会的特質について、①戦国大名の海洋交易活動と日明貿易、②九州諸大名の東南アジア交易、③九州の港湾都市の繁栄、という3つの視点から論じた。

## 〔 区 分 E 〕

### 今城 英二

#### 運動でカラダを変えてみませんか

今城英二

新居浜工業高等専門学校一般教養科

平成24年度新居浜生涯学習大学講座 新居浜高専市民講座 2012年6月

体幹を意識し、誰にでもできる簡単な運動・筋力トレーニングを行うことにより、基礎代謝を高め、健康な身体を獲得するための入門編。一般市民の方（中高年層）対象に、日常生活の中で手軽にできることを紹介し、実際に体験し運動不足解消のきっかけづくりを目的とした講演を行った。

### 鹿毛 敏夫

#### 戦国大名領国のアジア性

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本史研究会（京都市）、（2012.6）

日本社会において中世的な権力分散構造が集権的な近世幕藩体制へと転換していく中・近世移行期のなかで、特に、15・16世紀の西日本地域社会は、日本史で「守護大名」や「戦国大名」と呼称する日本国内の一地域公権力の政権定義の枠組みをはるかに超越する。日本史研究会からの招聘を受け、「九州大名・豊臣政権とアジア」の全体テーマのもと、大陸に近い九州・西日本の諸大名が有する、アジア史の史的展開のなかに自らの領国制のアイデンティティを追求しようとする国際的地域政権としての特質について講演し、その後ディスカッションした。

### 鹿毛 敏夫

#### 麻田剛立と江戸の天文学

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本天文学会公開講演会（大分市）、（2012.9）

日本天文学会からの招聘に応じて、同会秋季年会の公開講演会において、江戸時代日本の天文科学技術の状況について、日本最古の月面観測図や日食・月食の観測記録、および当時の観測器具等の写真を提示しながら、一般向けにわかりやすく解説・講演した。

### 鹿毛 敏夫

#### 日中の倭寇絵巻と大内氏・大友氏

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

九州史学研究会大会（九州大学）、（2012.10）

九州大学で開催された同大会において、日本と中国に現存する2点の倭寇絵巻の内容を文献史料に即して分析し、その歴史的意義を、絵巻の赤外線写真撮影で浮かび上がってきた「弘治」の年号の意味や、山口県に現存する偽造「日本国王」の印鑑の製作意図にからめながら論じた。

## 鹿毛 敏夫

### 遣明船と相良・大内・大友氏

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

東京大学中世史研究会（東京大学）、（2012.10）

東京大学で開かれた同研究会において、西日本の守護大名・戦国大名クラスの領主が自らの船を建造・保有する船持ち大名としての側面を有することを明らかにし、室町幕府からの遣明船警固等の上位命令を梃子に、彼らが船による活動を介した家臣団の組織化や大名水軍の編成を推進して、独自の遣明船を派遣していった実態を考察した。

## 鹿毛 敏夫

### Relation between Japanese Warlords and the *Wakou* in the 1550's

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

The Challenges of the Global History in Maritime Studies (Tsinghua University, Beijing, China)、  
(2012.11)

The Ming Dynasty painting *Resisting Japanese Pirates* (collection of the National Museum of China) and the *Wakou-zukan* (collection of the University of Tokyo) was produced to celebrate the victory of the Ming army over Japanese pirates. The year before last, we photographed these pictures by an infrared camera. Then in a thing interesting, we found a letter on a ship flag. The ship which a Japanese pirate handles raised a flag written as "Koji". "Koji" is the Japanese name of an era. And "Koji" era is from the first year to 4, that agrees from 1555 to 1558 of the Christian era.

According to the Chinese historical materials, Otomo Yoshishige and Ouchi Yoshinaga dispatched a ship for trade in China in 1556. The 1556 is the second year of the Japanese name of an era "Koji". So, the Ming Dynasty painting *Resisting Japanese Pirates* and the *Wakou-zukan* was produced to celebrate the victory of the Ming army over Japanese pirates who came from Japan in the year of "Koji" Period. And those who dispatched the vessels in the year of "Koji" Period were Otomo Yoshishige and Ouchi Yoshinaga, *Daimyo* in the Warring States period, who extended their power in the western part of Japan in the 1550's.

## 鹿毛 敏夫

### ポルトガルとドイツ現存の大友宗麟画像

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

上智大学講座（上智大学）、（2012.11）

上智大学で開催された一般向けの講座「大航海時代の歴史探訪」において講演した。16世紀は人類史上はじめて「世界史」と呼べるような地球規模での人間の有機的関係が生まれた世紀であり、地球を逆ま

わりしてアジアで出会ったイベリア半島両国の活動により、ユーラシアの東の端にある日本の状況もさまざまな手法を使って彼らの本国に伝えられた。当該期の日本社会をリードした戦国大名の姿がヨーロッパでどのように描かれ、また、当該の戦国後期の日本社会がどう認識されたかについて、ヨーロッパに現存する複数の絵画史料からわかりやすく紹介・解説した。

## 鹿毛 敏夫

### 鉱物からみた世界経済の変遷

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

石見銀山世界遺産登録5周年記念フォーラム（島根県大田市）、（2012.11）

世界遺産登録5周年を迎える石見銀山で開催された同フォーラムに招かれ、パネラーとして硫黄→銀→石炭→石油と変化する世界経済を支える主要鉱物の変遷とその意義を解説し、また、ディスカッションでは今後の同遺産が取り組むべき学術的課題について問題提議した。

## 鹿毛 敏夫

### 16世紀九州における豪商の成長と貿易商人化

鹿毛敏夫\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

東京大学国際シンポジウム（東京大学）、（2013.1）

京都の角倉了以や茶屋四郎次郎、大坂の末吉孫左衛門、長崎の末次平蔵等、中世末期から近世初頭にかけて多くの豪商が商圏を拡大して、いわゆる朱印船貿易のような海外貿易を手がけたことは周知の事実であるが、そもそも彼らがどのような経緯を経て富商化し、海外取り引きを主導する貿易商人に成長しえたのかという問題については、史料的制約もあって、これまであまり明らかにされていない。そこで、東京大学東洋文化研究所で開催された国際シンポジウムにおいて、末次氏等と同時期に九州を本拠として活動した豪商について、近年新たに確認された文献史料や考古史料も活用しながら、2代およそ40～50年間におよぶ成長の軌跡を明らかにした。

## 木本 伸

### ガンゼル『ウェイブ』試論—教室の日常に潜むファシズム—

木本伸\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本独文学会春季研究発表会（上智大学） 2012年5月20日

本発表は2008年のドイツ映画、ガンゼル監督作品『ウェイブ』(Die Welle)の作品解釈である。

## 木本 伸

### イタリアとドイツの幸せな結婚?—『マーサの幸せレシピ』をめぐって—

木本伸\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本独文学会中国四国支部学会研究発表会（広島大学） 2012年11月10日

本発表は2001年のドイツ映画、ザンドラ・ネッテルベック監督作品『マーサの幸せレシピ』(Bella Martha)の作品解釈である。

## 竹原 信也

### 別子銅山社宅街（鹿森社宅）における昭和の生活史

竹原信也

新居浜工業高等専門学校一般教養科

2012年度日本オーラル・ヒストリー学会学術大会（2012.9）

本報告では、まずコミュニティ研究におけるオーラル・ヒストリーの有効性とその手法を用いる際に留意すべき事柄（聞き手と語り手の非対称構造等）について先行研究を整理し報告した。続いて、近代的な社宅街を都市でも農村でもない空間・共同体としての「社宅街」として捉え、特に山間部社宅街の研究の必要性について論じた。最後に、別子銅山の歴史および社宅街の概要を紹介するとともに、山間に作られた社宅街（鹿森社宅）の生活文化を、生活経験者（元自治会長・元生協理事長）の語りや戦前、新居浜で生活改善運動を推進した改善会の雑誌「改善」などから紹介した。

## 竹原 信也

### 別子銅山社宅街（鹿森社宅）における昭和の生活史

竹原信也

新居浜工業高等専門学校一般教養科

平成24年度日本法社会学会学術大会（2012.5）

近代の社宅街には、企業の合理性の精神、労務管理や福利厚生といった、従来の鉱山集落とは明らかに異なる思想の影響が見られる。社宅街は計画的に整備され、多くの福利厚生施設が建設された。別子銅山においても、山間部の社宅街に娯楽施設や共同浴場、学校が作られ、後には、都市建設の一環として優れた幹部用社宅も作られた。このような特徴をもつ生活空間で人々はどのように生活していたのか。別子銅山・鹿森社宅で生活し、生協の運営に携わっていたAさんにインタビューを行い、その語りをまとめ、発表した。

## 平田 隆一郎

### ウェールズの言語と文化

平田隆一郎

新居浜工業高等専門学校一般教養科

平成24年度新居浜生涯学習大学講座 新居浜高専市民講座 2012年10月

新居浜市民の皆様へイギリス西北部に位置するウェールズとウェールズ語について簡単に紹介した。

## 平田 隆一郎

### ウェールズ語における前置詞残留の出現

平田隆一郎

新居浜工業高等専門学校一般教養科

平成24年度学位取得記念学術講演会 2013年3月

博士論文で扱った口語ウェールズ語に見られる前置詞残留という現象について、言語接触による言語変化という観点から講演を行った。

[ 区 分 F ]

平田 隆一郎

PhD Linguistics (博士号 言語学)

Preposition stranding in Welsh

平田隆一郎

新居浜工業高等専門学校一般教養科

Bangor University, School of Linguistics and English Language (バンガー大学言語学科)

Bob Borsley (University of Essex) 2012年12月

口語ウェールズ語にみられる前置詞残留現象に取り組んだ。ミニマリスト的アプローチから、この現象に関する文語と口語の差異について理論的に説明を行った。また、英語にみられる前置詞残留がなぜウェールズ語で観察されるようになったかについて、統語変化のメカニズムについても考察した。